



戦争をさせない
Anti-War Committee of 1000
1000人委員会

1000人委員会ニュースNo.34

(2015年9月12日号)

〒101-0063 東京都千代田区

神田淡路町1-15 塚崎ビル3階

TEL:03-3526-2920

FAX:03-3526-2921

■9.9 豪雨の日比谷野音に 5500 人が結集

戦争させない・9 条壊すな！総がかり行動実行委員会は、9月9日、日比谷野外音楽堂で「戦争法案反対！安倍政権退陣！日比谷大集会」を開催しました。台風接近に伴う大雨にもかかわらず、約 5500 人の市民らが結集し、戦争法案の廃案と安倍政権の退陣を訴えて抗議の声を上げました。集会と同時に、国会に向けた請願デモも出発し、国会前ではデモ隊と野党議員らとの間で



台風接近に伴う豪雨の中、約 5500 人が結集してコールを上げた（日比谷野音）

エール交換が行われました。また、集会後には、銀座方面へのデモも行われました。

集会では、野党 4 党からの発言があり、枝野幸男議員（民主党幹事長）は、「民主主義と立憲主義が壊されようとしている今日の状況を全力をあげて止めるのが国会議員の責任だと痛感している。これは主権者と独裁を始めようとする者の闘いだ。暴力を伴わないあらゆる手法で闘っていききたい」と述べました。

山下芳生議員（共産党書記局長）は、「自民・公明の幹事長が 16 日に採決を目指すことで合意したという。とんでもない。そんな条件がどこにあるのか。最高裁の元長官の山口さんまで違憲だと表明している。そもそも憲法違反の法案は国会で多数の賛成を持っていても、これを強行することは許されないと述べました。

福島みずほ議員（社民党副党首）は、「衆議院では参考人質疑を 2 回行ったが、参議院ではまだ 1 回だ。地方公聴会も参議院では行われていない。皆さんにお願いだ。国会の中だけでなく、皆さん一人一人の手の中にこそ民主主義がある。皆さんの手で憲法を無視する



豪雨の中、国会請願のデモ行進を行う参加者（日比谷）



国会議員面会所で野党議員らと大雨の中でエール交換

安倍内閣を退陣させようではないか」と述べました。

玉城デニー議員（生活の党と山本太郎となかまたち幹事長）は、「辺野古がある選挙区から選出された沖縄の議員として、この法案に強く反対している。ベトナム戦争に向かう飛行機が沖縄から飛び立っていくのを目の当たりにし、戦後にも戦争の悲惨さを味わった。自衛隊が命を落とすようなことはあってはならないし、その家族に涙を流させてはならない」と述べました。

連帯あいさつでは、SEALDs、ママの会、学者の会、弁護士などがアピールを行い、戦争法案廃案への決意を述べました。



佐高信さん（評論家） 創価学会の一部の人が戦争法案反対の運動に参加しているというが、単なるアリバイ作りで終わらないように、公明党は早く野党になれ。最近、武藤という自民党議員が離党した。しかしリクルート事件を思い出せばわかるように、未公開株で儲けようとするのは自民党の輝ける伝統であって、武藤は自民党の主流なのだ。私たちは公明党や自民党のそうしたそもそもの理念を問いただしながら、戦争法案廃案の運動を続けていこう。

清水雅彦さん（日本体育大学教授） 立憲主義には国家権力を縛るという役割の他に、ナチスの反省から多数派の暴走を是正するという民主主義とセットの役割もある。国会で多数決で決めた法であっても憲法に適っていなければ無効になる。この考え方を日本は戦後に導入した。私たち憲法研究者は違憲の法律を作ることを許さない。皆さんも一緒に声を上げ続けてほしい。



■9.8 新宿駅西口 大宣伝

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会は9月8日、新宿駅西口で、約1時間に渡って「新宿駅西口大宣伝」を行いました。激しく雨が降りしきる中、大勢の人々が駆けつけてプラカードを掲げながら「戦争法案廃案！」の声を上げました。宣伝カー



雨の中、宣伝カーから廃案を訴える野党各党の代表
(左から、共産党・志位和夫委員長、民主党・岡田克也代表、社民党・福島みずほ副党首、生活の党・主演了副代表)



から野党4党（民主・共産・社民・生活の党）の党首がアピールを行うと、多くの通行人が足を止め、耳を傾けていました。他にも、SEALDs、ママの会、学者の会、弁護士などがアピールを行い、参加者の声が

時折激しく降る雨の中、新宿駅西口には大勢の人が集まった



「強行採決絶対反対！」と声を上げる参加者

としている。河野氏には国会に出てきてもらおうではないか」と訴えました。

福島みずほ議員（社民党副党首）は、「本日参院委員会で派遣法が採決された。また特別委員会では中央公聴会が強行議決された。安倍内閣は戦後最悪の内閣だ。戦争をするのに平和と言って、民主主義を破壊する安倍内閣には退陣してもらわなければならない」と訴えました。

主濱了議員（生活の党と山本太郎となかまたち副代表）は、「集团的自衛権は違憲である。9条に明確に違反しており、半世紀に亘っての解釈にも違反している。日本を戦争ができる国にする法案だ。強行採決の可能性があるが、違憲は違憲だ。この法案が効力を発することはできない。政権交代で廃案にすべきだ」と訴えました。

宣伝行動の最後には、解釈で憲法9条を壊すな！実行委員会の高田健さんが、「この間の闘いで追い詰められた安倍政権は、今、闇雲に再び強行採決へと突き進んでいる。しかし、人々の闘いは7月15日の強行採決の時よりさらに強大になっている。もし強行採決しようものなら、7月15日の強行採決以上のことが起きるだろう。情勢はまさに安倍政権に対する総攻撃の様相を呈してきた。皆の力で、安倍政権を倒そう」と力のこもったアピールをしました。

新宿駅前に響き渡りました。

岡田克也議員（民主党代表）は、「今日の特別委員会で、自民党は抜き打ちで中央公聴会の日程を可決した。これは強硬路線で突破しようとする宣言だ。今が大きな分かれ道。皆で力を合わせて平和主義を守ろう」と決意を表明しました。

志位和夫議員（共産党委員長）は、「昨年12月の河野幕僚長の米軍幹部との会議録を明らかにしろという要求に対し、探してみたが確認できなかった、という回答が本日あった。あくまでも軍部の独走を隠し通そう

■9.10 戦争法案反対 国会前連続集会（第17回）



プラカードを掲げて戦争法案に抗議する参加者（国会正門前）

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会は、9月10日、国会前連続集会の第17回目を国会正門前で開催しました。約4000人の市民らが参加し、降り続く雨にも負けず、参議院での強行採決が迫る戦争法案に対して、強く廃案を求めて抗議の声を上げました。集会には、吉田忠智議員（社民党党首）や小池晃議員（共産党副委員長）ら国会議員も駆けつけ、アピールを行いました。

集会では、1000人委員会呼びかけ人の落合恵子さん（作家）や、ジャン・ユンカーマンさん（映画

監督）、山岸良太さん（日弁連憲法問題対策本部）、原水爆被害者団体協議会の田中熙巳（てるみ）事務局長らがスピーチを行いました。総がかり実行委員会の行動の後は、SEALDsが集会を引き継いでコールなどを続けました。

■「戦争法案」を葬ろう 9.10 集会



法案成立阻止への決意を述べた民主党・近藤昭一議員（立憲フォーラム代表）

戦争をさせない 1000 人委員会と立憲フォーラムは、9 月 10 日、憲政記念館講堂で「戦争法案を葬ろう 9.10 集会」を開催しました。

集会では、戦争をさせない 1000 人委員会の呼びかけ人である、落合恵子さん（作家）と山口二郎さん（法政大学教授）がそれぞれ講演を行い、戦争法案の廃案を強く訴えました。また、国会議員も多数参加し、立憲フォーラムの代表を務める近藤昭一議員（民主党）は、「8 月 30 日に 12 万人が集まり、自

分も現場にいて圧巻だった。しかしそれだけでは終わらせず、なんとしてもこの戦争法案を止めるために共に頑張っていきたい」と決意を表明しました。

参議院の安保法制特別委員会のメンバーである福山哲郎議員（民主党）は、「参議院で議会在中断したのは 106 回にも上る。今の段階では 15 日の中央公聴会までは決まっており、16 日に地方公聴会を入れるかどうかぎりぎりの交渉が行われている。いずれにしてもこんなに審議が荒れてどこにも収斂していない状況で採決などありえない」と報告しました。

山口二郎さん（法政大学教授） 本当にあと 1 週間という局面まで来た。今回の闘いは 60 年安保にも匹敵する、まさに 15 年安保と言ってもよい。60 年安保では戦前的価値観に対する国民の拒絶がはっきりとあらわれていた。安保の改定は自然に成立したが、岸内閣の退陣で戦後史は大きく変わった。よく、「デモなんてして何になるのか」といちゃもんをつける人がいる。しかし、人々がデモを行い、一人一人が声をあげるのも民主主義のあり方だ。今回の運動では、これまでにない層から新鮮な言葉が出てきた。特に若者を中心とした新しい運動が生まれ、色々な可能性が開けている。



昔の自民党は今と違って自己修正力があつた。党内には岸首相に歯止めをかけられる人たちがいた。ご存知のように、岸首相の後に首相になったのは、リベラルなハト派である池田勇人首相であり、彼は平和主義路線をとった。しかし、今回の自民党の総裁選を見て、この党には自己修正力はまったくないのだとわかった。党内で修正がきかないのなら、私たちが外から行動によって追い込むしかない。この暴走を止める方法は他にない、ということを強調したい。

私たち政治学者の大先輩でもある北岡伸一さんは、「憲法は最高法規ではない。自然法や道徳が上にある」と言った。耳を疑ったが、これが安倍政権の考えだろう。2015 年にもなってこのようなブレインのもとで政治が行われようとは、昔の政治家も予想しなかっただろう。

戦後 70 年の節目に、市民運動が戦後デモクラシーの意義をかみしめ、守り抜いんだと言えるよう、最後まで頑張りたい。



落合恵子さん(作家) 皆さん一人一人が闘う人間になろう。闘うことを誇りとしよう。安倍さんの周りの人たちは、札幌と料亭でしか人間関係を作れない。彼らはそういう世界の人たちだから、私たち市民のことを本当に馬鹿にしきっている。私たちは誠実さでもって闘い、彼らに私たちの力を思い知らせてやろう。リミットは近いが、どんなに小さくても私たちの声が何かを変えるかもしれない。小さな風穴を開けるかもしれない。そのことを信じよう。私がデモに行く時、必ず思い出す言葉がある。全共闘時代、東大の安田講堂に書き残されていた、「力及ばずして倒れることを辞さないが、力尽くさずして挫けることを拒否する」という言葉だ。やっぱり力を尽くそう。あの方たちは、「国民は愚かだから日が経てば忘れるだろう。今までもそうだった」と思い込んでいる。今までは違う私たちがここにいるのだ、ということを彼らに真正面から見せてやろう。そうすることを喜びにしよう。どこまでできるのか、私が私を見ている。他の誰かなんて関係ない。どんな表現をもってしても表すことのできない、ひどいこの政権に対して、私たちで私たちの答えを出しましょう。ここからが民主主義のスタートだ。私たちはもう一度、より深い、より高い次元の民主主義をスタートしていきたいと思う。

■9.8 「戦争をさせない全国署名 2015」 第3次集約分 16万筆を参議院へ 追加提出・合計 223万筆に

戦争をさせない1000人委員会は9月8日、「戦争をさせない全国署名 2015」の第3次集約追加分、16万8628筆を参議員請願課に提出し、請願者の声をしっかりと受け止めることを要請しました。「戦争をさせない全国署名」は第1次・第2次、第3次集約提出分の206万7922筆と合わせて、合計で223万6550筆に達しました。この間賜りましたご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。私たち「戦争をさせない1000人委員会」は、これからも皆さんとともに頑張ります！



追加提出した16万筆の全国署名(紹介議員の民主党・江崎孝参議院議員)

■「戦争法案」を葬ろう 9.3集会

戦争をさせない1000人委員会と立憲フォーラムは、9月3日、憲政記念館で「戦争法案を葬ろう 9.3集会」を開催しました。集会には国会議員も多数参加し、参議院の安保法制特別委員会のメンバーである小川勝也議員(民主党)は「政府・与党が取り上げた、ホルムズ海峡の機雷掃海も、米艦に乗った邦人防護も、どちらも立法事実としては破綻した。与党は18日までに何とか採決しようとする間、与党間で協議している。それ



参加者は戦争法案廃案への決意を新たにした(憲政記念館)

までに何とか違憲性や立法事実の破綻を追及しつつ国民の皆さんと闘っていきたい」と報告しました。



宮崎礼壹さん

その後、元内閣法制局長官の宮崎礼壹さんが「法の番人が違憲の安保法制をしかる」と題して講演を行いました。宮崎さんは講演の結論として、「集团的自衛権の行使を容認する安保法制はそもそも内容としても違憲だ。また、長年積み重ねた政府の憲法解釈は、単に学問として言っているのではなく、立法の際に政府が責任をもって答弁したものであるため、憲法上確立した解釈だと言える。それを政府自体が破っているというのは手続き的にも正当性に疑問がある。これは廃案しかなないと考えている」と述べました。

講演後には各界からのアピールが行われ、学生ハンスト実行委員会の嶋根健二さん（専修大学4年）は、「学生ハンスト実行委員会は、自分の身を削ってでも戦争法案を廃案にし、安倍政権を退陣させるという目的で結成された。自分を含め4人の学生が8月27日から9月2日まで、議員会館前でハンストをやり抜いた。しかし闘いはまだまだこれからだ。皆さんと連帯して必ず廃案に追い込む」と訴えました。



嶋根健二さん

■9.3 戦争法案反対 国会前連続集会（第16回）

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会は、9月3日、参議院議員会館前で第16回目となる「戦争法案反対 国会前連続集会」を開きました。雨にもかかわらず、約2100人の市民らが結集し、戦争法案の廃案と安倍政権の退陣を訴えました。

集会には高校生も参加し、「専門的な知識のない自分たちでも、今の安倍政権は戦争の色が強まっていると感じる。戦争に行くことになるのは自分たちの世代なのでここで止めないといけない。自分の意見を持ち続けて、しっかり訴え続けなければいけない。絶対に戦争法案を止めましょう」とアピールしました。

また、ドイツ文学翻訳家の池田香代子さんは、「9条の下で、殺さない・殺させないという無理難題を自衛隊は50年以上も実現してきた。矛盾に満ちた存在ではあるが、今になって世界を見渡してみると、とても貴重な存在になっている。内部文書が暴露されたのも、9条下での自衛隊のままでいてほしい、という自衛官がいたからだろう。日本にしかできないことを戦争法案は捨て去ろうとしている。廃案に向けて私たちも頑張っていこう」と力強く訴えました。

また、ドイツ文学翻訳家の池田香代子さんは、「9条の下で、殺さない・殺させないという無理難題を自衛隊は50年以上も実現してきた。矛盾に満ちた存在ではあるが、今になって世界を見渡してみると、とても貴重な存在になっている。内部文書が暴露されたのも、9条下での自衛隊のままでいてほしい、という自衛官がいたからだろう。日本にしかできないことを戦争法案は捨て去ろうとしている。廃案に向けて私たちも頑張っていこう」と力強く訴えました。



降りしきる雨の中 2100人が参加（衆院議員会館前）



高校生が参加して法案反対をアピール



池田香代子さん

■9.4 総がかり行動実行委員会 記者会見



戦争法案廃案に向けた決意を表明する福山真劫さんら

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会は、9月4日、衆院第一議員会館で記者会見を開き、この間の行動の成果を報告し、さらに今後の課題や行動を提起しました。会見には「安全保障関連法案に反対する学者の会」の間宮陽介さん（青山大学特任教授）も出席し、学者や学生グループの今後の行動予定を報告しました。

解釈で憲法9条を壊すな！実行委員会の高田健さんは、「8月

30日の国会前行動について、主催者発表の12万人は大げさで、実際は3万人だったという報道がなされており、私たちは非常に不満に思っている。今回は議員会館や官邸側、霞ヶ関の官庁街、日比谷公園の方もぎっしりだった。正門付近の写真だけで判断してほしくない。12万という数字は決して誇大ではない」と訴え、マスコミに対し正確な報道をするよう呼びかけました。

戦争をさせない1000人委員会の福山真劫さんは、「内部資料の暴露により明らかになった河野克俊統合幕僚長の動向については、証人喚問あるいは最低でも参考人招致をし、きっちり説明させるよう野党にも要請したい。これからの数週間、戦争法案廃案と安倍政権退陣のために全力で頑張りたいと思う」と強く訴えました。

また、戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかに共同センターの小田川義和さんは、「8月30日は国会前だけでなく全国1000ヶ所以上の場所で行動があったことを確認している。その意味で、今回の行動はかつてないほどの広がりを見せている。これを出発点に今後の正念場となる闘いに取り組んでいく」と訴えました。

■みなさんからのメッセージ

— 政治家が妄言を吐いて、「誤解を与え…」と言っています。我々がどう誤解したのか。あの文言で理解させたかった真意は何だったのか。我々が誤って理解したと言わんばかりに開き直り、そこを突く国会議員はほとんどいない。もっと突っ込みのある議論をしてもらいたいです。共に頑張りましょう。



「戦争法案廃案！」のシュプレヒコールを上げる市民ら

(9月10日、国会正門前)

— 今後、安倍政権の不当で理不尽な策動も予想されますが、絶対に屈することなく運動を継続していきましょう。戦後70年の節目の年を、再び戦争への道を開かせないためにも、皆さんと共に平和と民主主義を守っていくことの大切さを訴えていきます。

- 日本は平和憲法を抑止力にして、世界平和のリーダー国となるべきだ (横浜市・男性)
- 戦争を 平和と読ませて 法つくる されど吾らは 空襲忘れじ
 もう二度と 戦争という 二文字を 子々孫々に 残さぬ努め
 戦争の 歴史知らぬか 多数派は 平和と呼ばせ 戦時に戻す
 安倍政治 戦争法制 許さない 平和の破壊 断じて許さじ
 沖縄の 心を金で 買えし人 面会拒否し 基地押つけり
 ペンネーム「越後平野」さん (73歳・男性)

■集会・活動スケジュール

9月12日時点での予定です。日程変更や緊急の行動呼びかけをさせて頂くことがあります。行動の詳細は1000人委員会ホームページ、または「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」のウェブサイト <http://sogakari.com/> をご覧頂くか、事務局までお問い合わせください。

- 9月 14日 (月) 13時00分～17時00分 戦争法案廃案・国会前座り込み行動
 18時30分～ 強行採決反対！戦争法案廃案！安倍政権退陣！
 9.14 国会包囲大行動 場 所：国会周辺
- 9月 15日 (火) 12時30分～17時00分 戦争法案廃案・国会前座り込み行動
 ※中央公聴会開催に抗議するため早めています
 18時30分～ 戦争法案廃案！国会正門前大集会 場 所：国会周辺
- 9月 16日 (水) 12時15分集合 戦争法案廃案！9.16 横浜・地方公聴会抗議行動
 集合場所：JR 新横浜駅・駅前広場
 呼びかけ：戦争をさせないかながわの会
- 9月 16日 (水) 13時00分～17時00分 戦争法案廃案・国会前座り込み行動
 18時30分～ 戦争法案廃案！国会正門前大集会 場 所：国会正門前
- 9月 17日 (木) 13時00分～17時00分 戦争法案廃案・国会正門座り込み行動
 18時30分～ 戦争法案廃案！国会正門前大集会 (連続行動第18回)
 場 所：国会正門前
- 9月 17日 (木) 17時00分～ 「戦争法案」を葬ろう 9.17 集会
 場 所：参議院議員会館 講堂
 講 師：内田樹さん (学者の会呼びかけ人) ほか、各界アピール
 主 催：戦争をさせない1000人委員会・立憲フォーラム
- 9月 18日 (金) 13時00分～17時00分 戦争法案廃案・国会正門座り込み行動
 18時30分～ 戦争法案廃案！国会正門前大集会 場 所：国会正門前
- 9月 23日 (木) 13時30分～ 9.23 さようなら原発 さようなら戦争 全国集会
 場 所：代々木公園B地区・けやき並木
 デ モ：渋谷コース・原宿コース
 主 催：「さようなら原発」一千万署名 市民の会
- 9月 24日 (木) 18時30分～ 戦争法案反対国会前集会 (連続行動第19回)
 場 所：衆議院第2議員会館前

<事務局からのお願い> 各地域で活動されている皆さんの取り組み、皆さんのメッセージなどを掲載します。
 事務局へ手紙、FAX、メール等でお寄せください。紙面の都合上、掲載しきれない場合はご了承ください。